

《主な鉄道遺産解説》

◆桃観トンネル…①②③④⑤

現在の長さ1991m(山陰線最長時期あり)、当時は1841m(大正7年9月の大水害後、防災用として150m東側に延長)明治41年(1908)1月7日着工、同44年(1911)2月11日貫通、翌3月1日開通。馬蹄形トンネルの両側には石積柱、上方には要(かなめ)石が見られる。入口上の石額は明治43年(1910)9月12日視察と激励に訪れた逓信相・鉄道院総裁後藤新平の筆によるものである。

余部・東側:『惟徳罔小(いとくもうしょう)』『この徳は小さくない』

久谷・西側:『萬方惟慶(ばんぼういけい)』『すべての人がこれを慶ぶ』

現在も使用されているトンネルで、明治期の石額は全国的に数少なく貴重。桃観トンネルは山陰線最大の難工事で、西側は当時最新鋭の削岩機が導入されたが、東側は手掘りで行われた。落盤事故・発破の失敗・膨大な湧水等で多くの犠牲者が出た。両口少し入った処に空気穴がある。東穴(150m奥)は明治の東口、大正の延長工事後煤煙排気口となった。西穴(240m奥)は明治の工事空気穴のままで、完成後は排気口となる。

◆久谷八幡神社招魂碑…⑥

明治44年(1911)10月1日建立。2・2・3工区の犠牲者27人を弔う。その内に朝鮮人7人が刻まれ、全国的に注目されている。

◆福富三柱神社狛犬…⑧

明治44年(1911)3月、鉄道関係者が工事竣工に感謝して奉獻。出雲石で造られた2つの狛犬と円形の台座は珍しい。台座の下に世話人の名前が刻まれているが、摩耗が著しく判読しにくい。

◆居組龍雲寺追悼碑…⑩

明治44年(1911)3月建立。表に「鉄道工事・遭難病没追悼碑」、裏に発起者、建設者、世話人、石工の名前があるも犠牲者については不明。鳥取県境の陸上(くがみ)トンネルも難工事であった。

◆2つのメガネトンネル…和田口⑦、居組⑨

鉄筋コンクリート製。築堤の下に設置。一方は道路、他方は河川に利用。トンネル上方に要(かなめ)石、トンネルを繋ぐ台座は石造りである。

◆新岸田川鉄橋…⑨

「新」とあるのは川替えの名残り。たびたび氾濫した岸田川の付替えは昭和9年(1934)9月大水害後に着手。工事は昭和12年(1937)開始、鉄橋は同15年頃に新設。現在川跡には浜坂病院が建つ。

◆田君川ラチス鉄橋…⑩

元の橋は大正7年(1918)9月の大洪水で流失。現在の鉄橋は大正9年に完成。ラチス(格子状桁)橋は但馬では竹野川にも見られるが、全国的に数が少なく貴重。いずれも同時期のもので、洪水対策と考えられる。

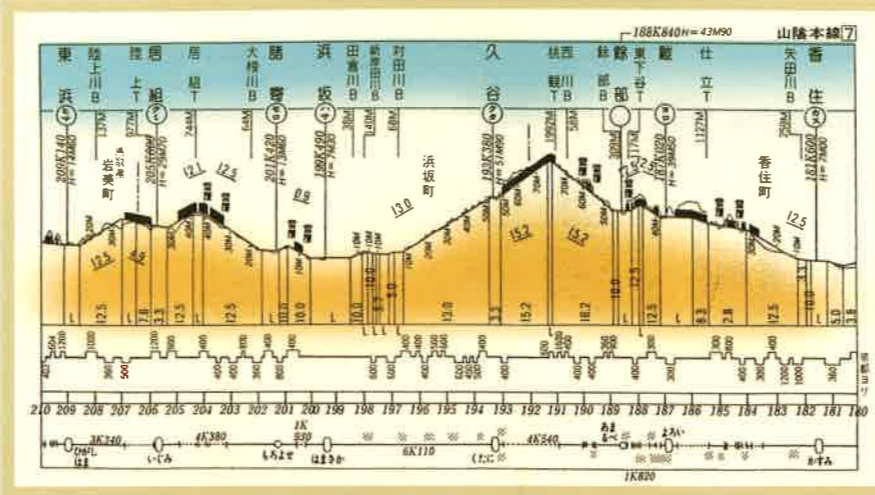
◆後藤新平お手植えの松(2代目)…⑬

ユートピア浜坂(元浜坂小学校跡)前にある。明治43年9月12日余部鉄橋・桃観隧道を視察した後藤新平はこの地で激励会に出席。植樹の後、七坂八峠を人力車で通って鳥取県岩井温泉に泊まった。

◆2つのレンガ塀…浜坂西光寺⑫、釜屋三柱神社⑭

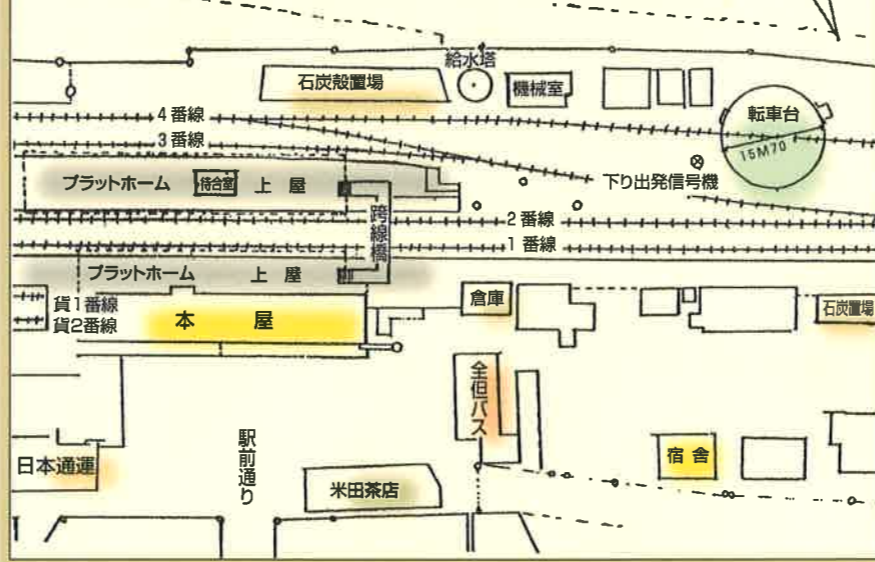
どちらも鉄道工事終了後、関係者が寺や村に世話になったお礼として寄進したもの。浄土真宗西光寺は工事犠牲者を弔ったことで知られる。

《山陰線香住一浜坂間線路縦断面図》



山陰線香住一浜坂間の線路縦断面図 (『日本鉄道名所一勾配・曲線の旅一7、山陽線・山陰線・予讃線』小学館、1994より)

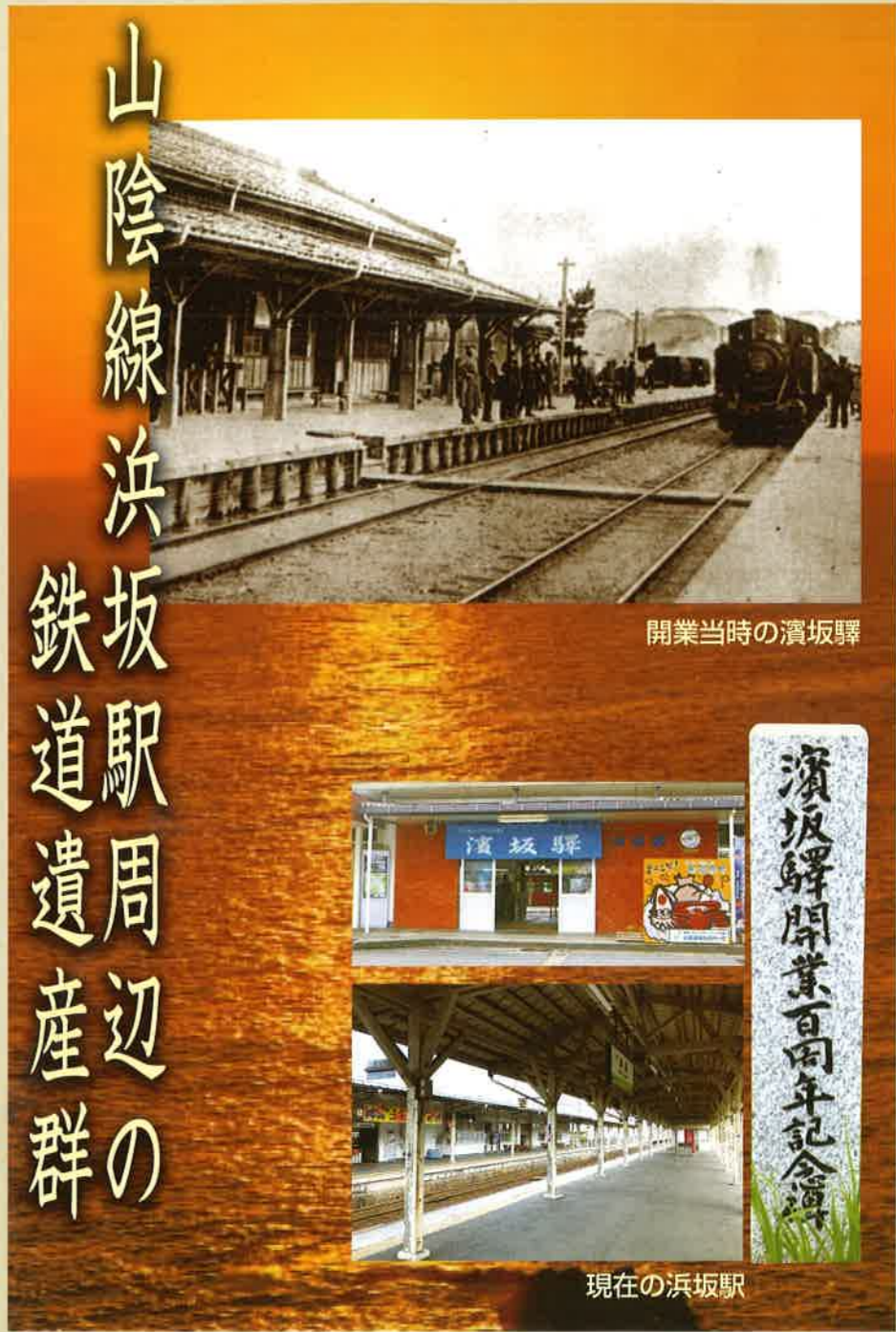
《浜坂停車場平面図(昭和30年頃)》



《沿線余話》

★跨線橋(陸橋)…今は無き浜坂駅のシンボル
 開通後地元の請願により、神崎駅(現尼崎駅)にあったものが、大正5(1916)年6月に移設された。
 昭和42(1967)年2月に地下道ができると、その役割を終えた。半世紀にわたり旅客の安全を守り続ける。

★諸客駅…昭和13年(1938)6月1日に本駅に昇格
 諸客は昭和4(1929)年8月より久邇宮様の避暑地となる。最初は浜坂駅下車、車で諸客へ向かうが、昭和6年夏より仮駅が設置されていた。



山陰線
浜坂駅
周辺遺産群の

開業当時の濱坂駅

現在の浜坂駅

濱坂駅開業百年記念碑

浜坂駅は明治44年(1911)11月10日、岩美駅間が開通し営業開始。当時鳥取までの駅は居組・岩美・塩見(現福部)の三駅で、東浜・大岩は戦後の設置である。それまでは浦富(岩美)から津居山(城崎)まで隠岐丸や加茂川丸等が就航し旅客を輸送していた。次いで翌45年3月1日、余部鉄橋・桃観隧道が完成し、山陰東線と連結。ここに出雲・京都間が一本の線路で結ばれたのである。つまり浜坂駅は4ヶ月程山陰西線の終着駅であった。このため構内には給水塔、転車台、石炭置場等が設けられ、全線開通後も米子・福知山両鉄道管理局の分岐駅として重要な役割を持つ。プラットホーム2本、客車用に4線、貨物用に2線、計6番線まであった。
 開通時の駅長は岡本浩次郎氏、鳥取まで片道20銭、発着各5本。開通祝賀式では祝辞の後小学生の唱歌「鉄道開通の歌」が披露され、余興に浜坂芸妓30名が踊り、道路にはアーチ、各戸は幔幕と全町民が開通を祝った。

兵庫県美方郡新温泉町

レトロな鉄道のロマンを巡る旅はいかが？

山陰海岸国立公園

山陰線浜坂駅周辺の鉄道遺産群

兵庫県美方郡新温泉町

山陰海岸ジオパーク



16 釜屋防災延長トンネル



17 釜屋三柱神社レンガ塀



18 居組龍雲寺追悼碑



13 お手植えの松



11 名勝天然記念物但馬御火浦指定記念碑 (昭和12年建立)



11 浜坂駅給水塔



19 居組メガネトンネル



15 大柄川鉄橋



14 諸寄駅



9 新岸田川鉄橋



12 浜坂西光寺レンガ塀



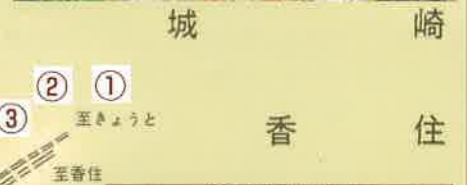
7 和田口メガネトンネル



4 西側排気口



1 桃観トンネル東口と石額



3 東側排気口



5 桃観トンネル西口と石額



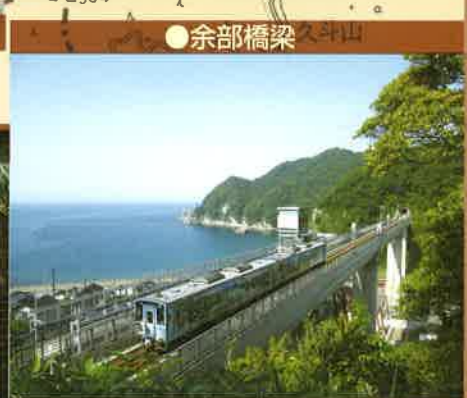
6 久谷八幡神社招魂碑



8 福富三柱神社狛犬



2 隧道上アーチ式水路



● 余部橋梁



岩美町 鳥取県

1 : 50,000

